



12月議会報告

平成24年12月3日(月)～12月21日(金)までの18日間

一般質問

一般会計 補正予算(第5号)

13億 04,772 千円を追加

総額532億36,820千円

歳出の主なもの

●地域振興費

・コミュニティセンター管理運営事業 11,422 千円
平成 25 年4月 1 日からのコミュニティセンター指定管理制度の移行に伴う備品等の整備経費

・天草空港利用促進協議会負担金 3,654 千円
新デザインによる航空機の就航に合わせたPR経費及び旅行企画商品等への助成経費

●障害福祉費事務経費

・生活介護費 124,310 千円
・施説入所支援費 95,616 千円

●児童育成費

・私立保育所運営負担金 43,793 千円

●農業振興費

・青年就農給付金(経営開始型)事業 9,115 千円
(青年新規就農者に対する給付金の給付)

●農山村活性化費

・中山間地域等直接支払推進事業 2,916 千円



★提言叶う。

楠本提案の文化行政を市長部局で取り組んでの要望に、本年4月より、文化行政は市長部局新設の『観光文化部』で推進されることとなります。天草の市民文化の向上を期待します。



牛についてのトリビア

- ① 牛の先祖が現れたのは…今から 3,000 万年ほど前。
- ② 牛が家畜化されたのは…今から 8 千年ほど前。
- ③ 日本の牛は…朝鮮半島経由で入ってきた。
- ④ 牛の角は…メスにも生える。
牛の角は、洞角と呼ばれ、前頭骨からのびた角突起の周りにケラチンと呼ばれるタンパク質の鞘がかぶさっている。
- ⑤ 和牛は…純粋な日本の牛ではない。
和牛品種には、黒毛和牛・褐毛和牛・無角和牛・日本短角種の4品種がある。これらの日本和種は、明治時代に日本のウシと外国のウシを交配させて品種改良が行われた。
- ⑥ 和牛には…戸籍がある。
一頭一頭に名前が付けられ、両親はもちろん、祖父のまた祖父から続く血統や、生産地(どこの農家で生まれたか)誕生日等の生い立ちの「証明書」を子牛のときから持っている。
- ⑦ 牛の鼻のシワは…同じものはない。
鼻のシワの模様は「鼻紋」。人間の指紋のように、一頭一頭ちがいが一生変わらない。



1. これまでの質問の対応状況について

楠本 男性の骨粗しょう症対策として、天草市の健診項目に追加できないか。

部長 平成 25 年度より実施する計画で予算要求をしている。

楠本 「AED: 自動体外式除細動器」を使い、先生たちへの指導者講習や、心肺蘇生法の講習体験を通じた、児童・生徒への命の教育の取り組みについて

部長 54 名の教職員が応急手当普及員講習(2日間)を受講した。
小学校35校中9校で、中学校13校全ての学校で取り組んだ。

楠本 亀場地域の渋滞の迂回路として利用頻度の高い、本渡柵宇土線の安全対策について

部長 歩道未整備区間の路肩の清掃をお願いしたい。定期的なパトロールで適切な維持管理に努める。

楠本 歩道未整備区間の整備は出来ないのか。

部長 歩行者の安全と自動車の円滑な走行を図るため、今後の状況を見極めたい。



●歩道整備が待たれる本渡柵宇土線



「奄美大島瀬戸内町」行政視察 建設経済委員長報告

瀬戸内町は、面積 240 平方キロメートル、人口は約 1 万人、奄美大島の南端に位置しています。

中心市街地の眼前に広がる大島海峡では、真珠・車えびの養殖が盛んです。近年は、クロマグロ栽培漁業のプロジェクト推進拠点「クロマグロのまち!瀬戸内町」として注目を浴びています。

町の農林水産課長の説明を受けながら、大島海峡にあるクロマグロのいけす養殖場を視察しました。

水産業振興の今後の課題として、国際的な資源管理の流を受ける中で、

養殖業者等の意見集約や情報交換に取り組むこと。種苗確保や魚場利用等についての連携の必要性がある。こと等を話された。



2. 市民の健康対策について

楠本 大型公園への健康遊具の設置(健康遊具で手軽な健康対策)

市長 健康遊具の設置は、体力の回復や心身の健康維持に効果がある。交付金事業を活用するなど、資金面での検討や、設置後の利用促進等、先進地を研究したい。

3. 持家改修「リフォーム」について

楠本 平成 22 年6月の一般質問で取り組まれた「天草産材利用促進補助金」の成果をおたずねします。

部長 H23 年が 43 件 2,875 千円、経済効果 82,340 千円。H24 年は 11 月まで、31 件 2,109 千円、経済効果 72,473 千円の実績があつている。

楠本 宮崎県都市部では、2 年間で利用件数「2,237 件」補助金額「1 億 57,076 千円」総工事費は「31 億 21,012 千円」であり、九州経済産業局の試算(生産誘発係数)で、44 億 63,047 千円の経済効果があつた。宇土市では、住宅リフォーム助成事業として(市内で利用できる商品券で支援、工事費の2割:6万円~20万円



分)市民・施工業者・商業者の3者に利益。事業効果は1億円(支援金1千万の予算:国の補助金が480万円)の画期的な取り組みがなされている。平成26年からは、消費税アップも行われる。天草市の活性化のためにも、2年限定の「持家住宅リフォーム対応の緊急支援事業」を何とか検討して頂けないか、お尋ねします。

市長 議員ご提案の住宅等のリフォームにかかる補助については、市民・施工業者・地元商店の活性化など、大きな経済効果を与える事業であり、他市の実施状況を参考に、より経済効果が上がるような施策で検討するよう指示をする。

4. 天草県体について

楠本 計画の進捗と今後の取り組みについて

部長 第68回熊本県民体育祭は、平成25年9月14~15日に「藍色の空と海に集い絆結ぼう 天草県体」をスローガンに、県下 10,000 人の選手役員の参加で、天草2市1町で開催される。8月に2市1町で実行委員会を設立し、大会開催に向け準備を行っている。本年の成績7位を3位以上に躍進するよう、競技力強化の支援を行う。



地域の安心安全と、快適な市民生活を守ります。



●住宅地の市道整備



●火災には注意しましょう(食場・昨年10月)



●通学路の安全対策



●原材料支給で里道整備

地域の皆さんからの要望に取り組み、環境整備を進めています。